



西桂町



Nishikatsura

VOL.
76

議会だより



- 今年の予算はこう使われます 2～3
- 小林町長からの報告 4～5
- 当初予算、補正予算、条例等の委員会審査内容 6～10
- 一般質問 11～14
(瀧口議員、藤江議員、小山議員、小林議員、郷田議員)
- 倉見地区の防災対策 (区長要望その後) 15
- コミュニケーション広場 16～17
(東山の里、すいせんクラブを訪ねて)

4月13、14日春まつり
神輿渡御 (上町・柿園)

写真提供：箭竹義信さん

無償にて全戸配付

一般会計予算
賛成討論

3月定例会

3月定例会は平成25年3月8日に招集され、同日に本会議、この後会期中に各常任委員会審査会、本会議が開催され、15日間の会期をもって、22日に閉会いたしました。町執行部より議決議案2件、条例15件、当初予算7件、補正予算7件、同意2件、議員発議2件、計35件が提案され、全ての議案が、いずれも原案のとおり決・同意されました。



渡辺 隆 議員

景気は、当面、一部に弱さが残るものの、次第に景気回復へ向かうことが期待されています。そのような状況下に編成された平成25年度一般会計当初予算は、総額18億7千20万円であり、前年度当

初予算と比較して2千917万円の増額、率にして1・6%の増となっており、小林町長の推し進める「豊かな心を育む人づくり・地域の魅力が輝くまちづくり・参画と協働によるまちづくり」を理念にした第5次長期総合計画を基調に、まちづくりの推進のため、無駄の無い、効果的な予算編成となっております。

歳入においては、公共

まちづくりの推進のため 無駄のない運営を実施する

施設整備基金等の繰入金8千10万1千円を計上、町債は臨時財政対策債の借入れにとどめ、健全な財政運営の歳入予算となっております。

歳出においては、地域防災・防犯の推進とし「地域防災計画の見直し」「防災士の養成」「消防協力団員制度の導入」「ランニングストック方式により、防災備蓄」「環境に配慮したLED灯の整備」を進め、子育て支援の充実として「子ども・子育て支援事業計画の策定」また、環境保全・観光振興への取り組みで、「小水力発電の活用調査」、「住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付事業」、「三ツ峠グリーンストーリー整備」を計上し、三ツ峠とともに西桂町全体が地域活性化につながる事

業等をそれぞれ継続的に実施されております。

「町長と語る会」、「西桂町民総合調整審議会」と「西桂町協働事業提案制度」を軸に、町勢の向上・発展及び町政運営の適正

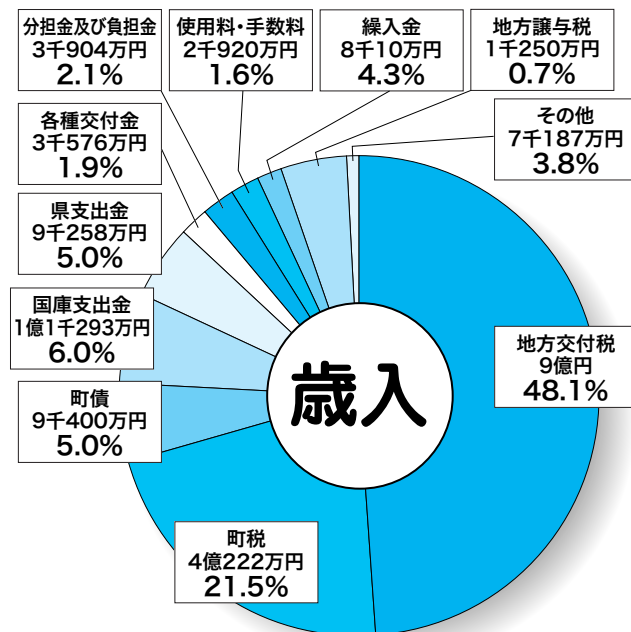
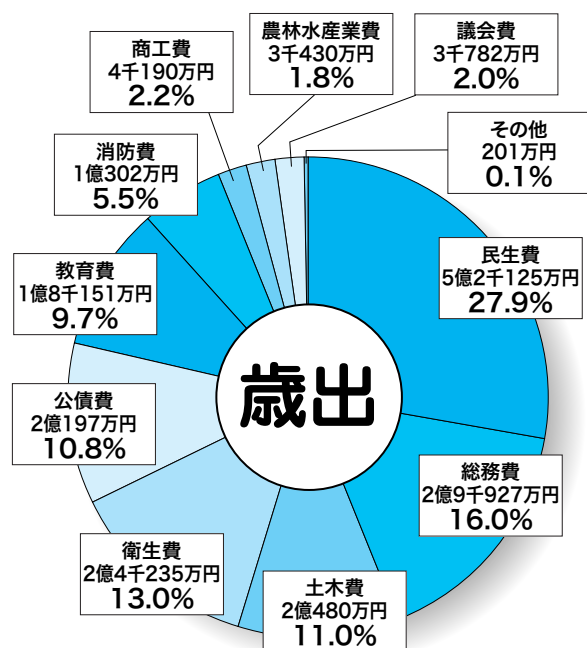
化を図るとともに、「平成25年度主要事業計画」を基に、予算が編成され、事業の予定通りの推進に期待を寄せるものであります。



全戸配付予定の防災ラジオ

平成25年度 防災ラジオを

平成25年度 西桂町一般会計当初予算



■基金（貯金）残高 15 億 8 千 905 万円
町民 1 人当たり（約 34 万円）

■地方債（借金）残高 20 億 3 千 847 万円
町民 1 人当たり（約 44 万円）

※左記の額は一般会計のものです。

※〔 〕内はH25 年 4 月 1 日現在人口 4 千 681 人で割った
一人当たり額

※地方債（借金）残高には、交付税算入基礎額として後年度
に国が負担してくれる額が含まれているため、全てが借金
とはなりません。

一般会計の主要事業及び主な新規事業

- こども・子育て支援事業計画策定（新規）……………184 万円
- 災害救助活動事業 災害時用防災備蓄（新規）……………704 万円
- 太陽光発電補助（継続）小水力発電測量（新規）……………106 万円
- 除雪清掃（継続）雪搬出委託（新規）……………375 万円
- 防災行政無線整備事業 防災ラジオ購入（継続）……………924 万円
- 文化団体育成事業 国民文化祭経費（継続）……………248 万円

小林町長 所信表明

『必要とされる災害用備蓄』を 平成28年度までに逐次実施



災害用備蓄を行う防災倉庫（中学校体育館裏）

第5次長期総合計画を基調に、まちづくりに取り組んでまいります。

参画と協働による まちづくり

町勢の向上・発展及び町政運営の適正化を図るための組織として正式名を「西桂町民総合調整審議会」とし、条例制定を行い、町民活動団体と町が協力・連携して行う事業の提案制度として「西桂町協働事業提案制度実施要綱」を策定します。

さらに「町長と語る会」実施要領を定め、「西桂町民総合調整審議会」と「西桂町協働事業提案制度」と併せて「3本の柱」による町民との協働によるまちづくりを進めます。

地域防災の推進

各地域における自主防災組織の充実を図るため、防災士の養成を行い、自主防災組織の会長である区長を補佐し、災害時における地域住民の自助・共助について、活躍を期待しています。

消防団強化のため、機能別消防団員制度の導入をいたします。

災害用の備蓄について、保存期間を考慮しながら平成28年度を備蓄目標としてランニングストック方式により、年次的に備蓄を行います。

防犯活動の推進

防犯灯・街灯の整備に

において、現在のナトリウム灯が故障した時及び新規に設置する場合にLED灯に替えていくよう計画をしております。

国際交流事業の推進

中国桂林市霊川県との友好都市交流事業について、平成25年度は霊川県へ中学生を中心に訪問団を派遣する予定でしたが、諸般の事情により、親書による対応とし、訪中の見送りを考えております。

子育て支援の充実

地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するため「子ども・子育て関連3法」が昨年8月に可決成立いたしました。

環境保全への 取り組みの強化

西桂町においても、子ども・子育て支援事業計画を平成25・26年度の2カ年にかけて、住民ニーズを把握するとともに、子育て関係者のご意見をお聞きしながら、策定に取り組みます。

安定したエネルギーが得られる小水力発電を活用できる場所を決定し、水量等の調査を行い早期の建設を目指します。

平成24年度から制度化した住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付事業は平成25年度も継続させていただきます。

観光の振興

「富士山」が世界文化遺産に登録された際には、世界中からより一層注目され、観光客も増えると予想され、富士山の眺望が美しい三ツ峠に登山者が増えることを期待しています。

平成25年度 各会計当初予算計上額

賛成全員

会 計 名	予 算 総 額	前年との比較
一 般 会 計	18億7千020万円	2千917万円
国民健康保険特別会計	4億7千945万円	693万円
後期高齢者医療特別会計	7千311万円	△150万円
介護保険特別会計	3億2千624万円	3千466万円
介護予防支援事業特別会計	74万円	8万円
簡易水道特別会計	6千660万円	529万円
下水道特別会計	1億7千004万円	△1千041万円
合 計	29億8千638万円	6千422万円

三ツ峠駅から三ツ峠グリーンセンターまでの間を仮称「三ツ峠グリーンストリート」と名付け、三ツ峠をより一層PRできるように案内看板等を設置し、「ふれあいサロン三ツ峠」を観光案内所として活用することを考えております。

「三ツ峠活性化会議」の事業、パンフレットの配布、旅行会社への情報掲載依頼を行い、春にクマガイ草見学会、夏から秋にかけては三ツ峠登山のイベントを実施します。今年から「さくら祭り」と商工会が行う「商工まつり」をコラボレーションさせ盛大に開催したいと考えております。

倉見山登山道について町のホームページやパンフレットに掲載し、登山者の誘客に努めます。

道路橋りょうの整備

県道富士吉田西桂線の供用開始時には、取り付け道路の設置等整備を行

います。町道の狭い道路の拡幅、橋りょうにおいては防災・耐震工事を計画的に行い、安全で安心な道路環境の整備を推進します。

公共施設や住環境の整備

民間住宅の耐震化の促進を啓発します。
町営住宅について、月夜の平団地の屋根補修及び浄化槽改修工事を実施します。

水道・下水道事業の推進

簡易水道事業については、工事関係において、郷土地内配水管布設替え工事、下水道工事に伴う給水管取出し工事が2件、町単工事2件の布設替え工事を予定しております。下水道事業については、工事関係において、第2処理分区の小沼倉見上線柿の木線、小沼中央線を予定しております。また、舗装本復旧で倉見中央道南線を実施いたします。

学校教育施設の整備・充実

既存の教職員住宅については、2月末をもって解体を終了しました。

教職員住宅を新たに建設する場合は、施設を経営資源としてとらえ、時代の変化に対応できる建物づくり、家賃収入や入居者の税収コスト、将来の利用見通しなど、経営判断を加える必要があります。今後、6月定例町議会までには方向性を示します。

生涯学習の推進

生涯学習施設及び児童福祉施設の整備・充実のため、老朽化したYLO会館の整備について、ニーズ調査等も含めて、関係者と協議します。

第28回国民文化祭・やまなし2013が、平成25年1月12日から11月10日まで開催されております。西桂町も三ツ峠登山ツアーと三ツ峠特別展の二つの事業を予定し、多くの県外者が訪れる国民文化祭町事業の運営において、町民の皆様のご協力をお願いします。



現在整備中の県道富士吉田西桂線

『古道整備』を計画

西桂町一般会計予算

意見 町債の償還について、条件が合えば借換えを積極的に進めて下さい。

問 情報システム運用事業の詳細については。

総務課長補佐 総合情報新システムは26年の2月から稼働し7年間の使用を考慮しております。住基・税・保健・学校児童・保育料等、町で使う業務の基本になっているシステムです。

問 住其カードをもっている人も、住民票・印鑑証明などが取れないが、新システムだと取れるようになるのですか。

総務課長補佐 基本的に取れませんが、後の段階で住民票がとれるようなシステムを構築する事は出来ますが、それには膨大な費用がかかります。

問 職員採用に関する指針を作成したかどうか。

町長 職員全体の人事管理については評価制度を平成25年度に構築して行

きたいと考えております。

また、職員の採用は公平性を取り入れる中で、能力試験を受けていただいて採用を行います。

問 重度心身障害者医療費助成事業について、受給者の負担にならないよう償還払をどのように行うのですか。

福祉保健課長 医療機関窓口無料化の廃止について、国保の医療費がかさむためとのことで県知事が県議会において26年11月に切り替えと説明をしました。ただし、無料化自体を廃止するのではなく、窓口で負担し後で自動的に利用者の口座に振り込まれる仕組みにしたいとの説明を県より受けております。

問 社会福祉協議会の決算では赤字決算でしたが、会長を兼務されている町長の所見を伺います。

町長 介護保険サービス事業について、民間の企



平成24年11月9日 三ツ峠活性化会議登山参加受付

業ですと収益を出しながら運営していますので、

その様な判断を基に会長として社会福祉協議会の運営に取り組みます。

問 観光事業について誰もが利益を得るなどの事業展開を図っていたきたい。

町長 町内外へメディアを使って周知、複数のイベント同時開催、特産品

開発など総合的に展開する事を考えております。

問 三ツ峠登山道の別のルート整備は。

町長 古道の復活について、林務事務所に働きかけ、県知事にも三ツ峠の眺めの良いところは県有林を切っていたきたいとお願いをします。

問 防災ラジオ配布事業についての詳細は。



郷田善臣 委員（新任）

固定資産評価審査委員会委員選任に同意
(全員同意)



新田陽一 委員（再任）

公平委員会委員選任に同意
(全員同意)



『三ツ峠登山道の



古道復活がもたれる三ツ峠

総務課長 防災ラジオに

ついては昨年度と25年度を合わせて無料で1千500台を全世帯に貸与する予定であり、旧機器は交換します。

問 ふるさと夏祭りの今後の事業展開は。

町長 ふるさと夏祭り実行委員会は長い間、交代が行われないため解散となりました。今後、夏祭り

の形態や組織を変えて行かなければならない時期に来ていると思います。

今年度の夏祭りについては役場のプロジェクトチームを中心にこれまでの形態で規模を多少縮小して、各種団体、前実行委員等の協力を得ながら実施したいと思っております。平成26年度からは全町的な話し合いを進め、町の

活性化の為、新しい形態を作りたいと考えています。

意見 今後も町の中心的イベントとして発展して行くことを望みます。

問 前々町長及び前町長については、公約により

給与の10%をカットしましたが、小林町長は。

町長 民間給与や公務員給与も年々減額されていきますので、町長給与も減額のままとの結論を出しました。

国民健康保険特別会計当初予算

問 税の公平性の観点からも収納率の向上に努めていただきたい。

今後も啓発に努めます。

税務住民課長 納税意識の高揚、コンビニ納付の実施等により収納率も改善されつつありますので、

意見 口座振替への移行を促し収納率のアップを、また、医療費の抑制を図り、基金積立ができる様、努力願います。

下水道特別会計当初予算

問 下水道が通っていないも加入できない場合、受益者負担金が必要ですか。

しております。接続された方は徴収しません。

建設水道課長 受益者負担金は接続しない方に対して1件当たり30万円の負担をお願いしております。12年半で30万円を収めていただく方式になっ

意見 住民に制度の理解をしていただき、接続率の向上を図っていただき、受益者負担金については、不公平が生じない様に対応をお願いします。



小沢靖弘 議員（新任）



渡辺元良 議員（新任）



牛田政明 議員（再任）

鹿留山恩賜県有財産保護組合議会議員選挙
（全員賛成）

『消』のため工夫を継続



三ツ峠グリーンセンターふれあい館を視察

西桂町民総合調整審議会 条例制定

問 西桂町まちづくり推進委員会との整合性は如何か。また、平成24年度に西桂町まちづくり推進委員会がどの程度開催され、その提言内容は。

総務課長 西桂町まちづくり推進委員会は町長の諮問に依りての決定機関の立場です。西桂町民総

合調整審議会は、政策・施策等を提案していただく機関です。また、まちづくりの推進委員会ですが、24年度は実施しておりません。

町長 西桂町民総合調整審議会の設置は、既存の事業の方向性やまちづくりに関する新たな事業の

立案をしていただく審議会と考えております。その諮問の内容に応じて、その都度専門家を入れ替えて、まちづくりのあり方について、徹底的に議論をしていただくため、年10回程度開催していきたいと考えております。

この審議会を有効活用して行き、多くの町民の皆様の声や町政の施策や事業に反映させて参りたいと考えております。

西桂町国民健康保険税 条例一部改正

問 各自自治体で格差があるので広域化に向け負担率はどうなっているのか。

も町民のご負担が急激にならないように、広域化に向けて研鑽します。

税務住民課 広域化については平成30年度を目途にしております。国県では、固定資産税の資産割を除く3方式を予定しており、資産割を段階的に減減して行こうと考えております。いずれにして

意見 国民健康保険の県単位化広域化に向け、各自自治体において格差のないようにしていくことが必要で、当町もスムーズに移行できるように進めていただきたい。

平成24年度西桂町一般会計 補正予算第8号

問 地域の元氣臨時交付金の詳細は。

について3月上旬に内示を受け、申請し県より決定を受けたものです。来年度への繰越明許した事

総務課長 国県より公共事業として特に単独事業

業が認められています。

問 三ツ峠グリーンセンターの交流施設の納付金が減額となっていますが。

産業振興課長

三ツ峠グリーンセンターからの決算見込み書に基づいて減額しました。当初額では360万円の赤字を見込みましたが、決算見込みは326万円ほど少なく、差し引きで34万円程の黒字で、その2分の1を町に交流施設の納付金として入れるため減額となっていました。

問 県外の人や西桂町に転居などで西桂町に移り住んだ場合、軽自動車税が増えますが、ナンバープレートを県内にしない方への対応は。

税務住民課長

ナンバープレートを居住地に変更することにより軽自動車税が町に入ります。ナンバープレートを居住地に変更していただきたいと言う事は広報等で案内していますが、あくまでも本人の意向となります。

問 公営住宅使用料が減

『町営住宅空き室解

額となっていますが、空き室対策は。

建設水道課長 現在の状況は入田団地5軒、浅間団地2軒、中野団地8軒、月夜ノ平団地で6軒、合計112軒の内21軒が空き室となっております。

広報で年2回お知らせし、併せて空き室状況についてホームページへ載せて町外への宣伝もしています。

問 所得制限により入居ができない方もいます。もう少し工夫して有効活用を図っていただきたい。

平成24年度西桂町国民健康保険特別会計補正予算第4号

問 近々で医療費が増大した場合の対策は。

税務住民課長 20・21年には医療費が4千510万円上がりましたが、それ以降現在まで、医療費が安定しており、現在、財政調整基金として1,000万円の積み立てができたので、医療費の増加に対する対応も出来る状

建設水道課長 低所得者向け町営住宅となつて

るので、所得制限があります。今まで居住している方々で、低所得でない方について、3年などの限度を決めて入居許可をしている状況です。今後、低所得者以外の方の入居についても、県と相談して上限の拡大を図れるか検討して行きます。

意見 出来るだけ知恵を絞っていただき、空き室がなるべく出ない方向で入居者希望者への啓発活動をお願いします。

態になったため安堵している状況です。

問 25年度の健康診断の受診者数の目標は。

税務住民課長 25年度は国の指示で事後指導をすれば60%の受診率は問わないとのこと、実績見込みで予算計上をしました。また、無料実施をした健診と人間ドックについ

て、25年度は財政が厳しいため、健診は1千500円、人間ドックについ

ても、一部負担をお願いします。

平成24年度西桂町介護保険特別会計補正予算第3号

問 介護保険料の負担割合について県下の中で西桂町がどのような位置にあるのか。

福祉保健課長 介護保険の保険料率については、

県下で最低の保険料率でしたが、24年度を迎える中で大幅な値上げを行い、県下で最大の値上げ幅となり県下で9番目に高い保険料率となりました。

西桂町町道に設ける道路標識の寸法に関する条例制定

意見 速度が出ている車が多いので、公安委員会へ申し出をして、設置が可能であれば、歩行者の

安全確保のために、30キロゾーンを増やしていただきたい。



町営月夜ノ平団地を視察

補正予算の主な内容（※全会計において、事業終了による事業費の減額更正あり）

一般会計補正予算(第8号)	○歳入 町税856万円増額、国庫補助金・地域の元氣臨時交付金等1千487万円増額 ○歳出 土木費・道路維持補修及び町営住宅管理事業1千293万円増額、教育費・小学校施設管理事業1千485万円増額
国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○基金積立金1千万円増額
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○後期高齢者医療費負担金313万円減額
介護保険特別開会補正予算(第3号)	○介護サービス等費546万円増額、基金積立金607万円増額
介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)	○介護予防支援事業費10万円減額
簡易水道特別会計補正予算(第3号)	○管理費60万円減額、維持費55万円増額
下水道特別会計補正予算(第3号)	○管理費35万円増額、新設費200万円減額

3月定例・条例制定改正等

賛成全員

- 議案第1号 富士北麓自立支援給付認定審査会共同設置規約の一部改正 関係法律の施行に伴う字句訂正
- 議案第2号 西桂町民総合調整審議会条例の制定 町民各位より町政全般にわたる意見や助言、提言等をいただくための審議会を設置する条例
- 議案第3号 国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理運営に関する法律等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 関係法律の改正に伴い、影響のある町3条例の字句訂正
- 議案第4号 西桂町介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等に関する条例の制定 関係法律の施行に伴う条例制定
- 議案第5号 西桂町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の制定 関係法律の施行に伴う条例制定
- 議案第6号 西桂町介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の制定 関係法律の施行に伴う条例制定
- 議案第7号 西桂町税条例の一部改正 関係法律の改正に伴う、所要の改正
- 議案第8号 西桂町国民健康保険税条例の一部改正 国民健康保険の県単位化広域化に向けて、算定方式を資産割を除く3方式課税に統一を図るため段階的に資産割の率を削減するとともに、国民健康保険税全体の減収を補てんし会計の健全財政の保持及び税の平準化を図るため、税率及び税額の改正
- 議案第9号 西桂町町道の構造の技術的基準に関する条例の制定 関係法律の施行に伴う条例制定
- 議案第10号 西桂町町道に設ける道路標識の寸法に関する条例の制定 関係法律の施行に伴う条例制定
- 議案第11号 西桂町における高齢者、障害者等の円滑化のために必要な町道の構造の基準に関する条例の制定 関係法律の施行に伴う条例制定
- 議案第12号 西桂町準用河川管理条例の制定 関係法律の施行に伴う条例制定
- 議案第13号 西桂町準用河川管理施設等の構造に関する技術的基準を定める条例の制定 関係法律の施行に伴う条例制定
- 議案第14号 西桂町簡易水道事業に係る布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定 関係法律の施行に伴う条例制定
- 議案第15号 西桂町道路占用料条例の一部改正 関係法律の施行に伴う、所要の改正
- 議案第16号 西桂町下水道条例の一部改正 関係法律の施行に伴う、所要の改正
- 議案第31号 人権擁護委員の推薦につき意見を求める件 人権擁護委員法による人権擁護委員の推薦
- 発議第1号 西桂町議会委員会条例の一部改正 関係法律の施行に伴う、所要の改正
- 発議第2号 西桂町議会会議規則の一部改正 関係法律の施行に伴う、所要の改正

3月定例・補正予算

賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
一 般 会 計	△433万円	19億0千727万円
国民健康保険特別会計	654万円	5億0千203万円
後期高齢者医療特別会計	△344万円	7千117万円
介護保険特別会計	1千042万円	3億1千242万円
介護予防支援事業特別会計	△10万円	56万円
簡易水道特別会計	△5万円	6千619万円
下水道特別会計	△165万円	1億8千136万円

一般質問

瀧口幸男 議員

公共施設の耐震化は基準内と確認



問 教員住宅解体時の対応は

答 近隣へ配慮し事業を執行した

瀧口

小水力発電の活用について進捗状況を示していただきたい。

昭和45年から昭和55年までに建てられた公共建造物の数は、また、この期間に建てられた施設に対する耐震診断や災害等への必要な措置は。

教員住宅の解体時に近所に配慮していたかどうか説明をお願いしたい。また、町長は解体時に視察に行かれたか。

教育長の教員住宅を建てることを優先してきた手法をどう思いますか。

今年1月14日の大雪時、除雪が遅く苦情が寄せられました。除雪に対して業者一社でなく再検討をお願いします。

町長

小水力発電への取り組みは、平成25年度予算に水力発電施設が設置可能な場所の調査費用を計上しました。該当する公共建物は8棟です。災害等に耐えうる建物の基準となる耐震診断並びに耐震補強等は、平成11年に役場庁舎の耐震診断、耐震補強工事を実施し、YLO会館は平成23年に、小学校南館及び特別教室は平成17年に、入田団地3棟は平成12年に、いずれも耐震診断を実施し耐震基準内の建物と確認されており

ます。なお、産業会館は鉄骨造2階建ての建物で、耐震診断は未実施で、今後、検討をします。

教員住宅の解体工事は、着手前に隣接の住宅に対

して工事内容の説明を工事施工業者が行い、着工は2月5日で防護ネット等の必要な設置を行い、2月13日工事が完了しました。私は2月7日に現地に行き、解体状況を確認しました。

教育長の教員住宅建設計画は、東部交流等により赴任される教職員の住居確保・緊急時の危機管理上から必要な行動であると理解しますが、私の考えは、新たに建設する場合、将来見通しなど、経営判断に基づいて結論を出したいと考えております。除雪事業については、現在土木業者2社と委託契約しており、今後は水道業者などにも除雪をお願いする考えです。

瀧口

昨年4月、再度6月に議会に提出してきた資料で設計金額が高価になっており、どうして設計金額を落さなかったのか。

また、増築しようとした場所の名前と増築理由をお答え下さい。

教育長

昨年4月と5月24日に開催された全員協議会と理解し、再度6月に同じ内容で提出してきたとは、同年12月14日に開催された全員協議会と理解しております。

平成24年11月に町議会議員の改選が行われ、新たに就任された議員各位がおられたことから、5月24日の協議内容を再度お示しする必要性を感じ12月14日の全員協議会と同じ資料を配付し説明しました。配付資料は耐震診断委託事業成果品の付属資料であって、入札等業者選定を行うための積算資料ではありません。

増築については、解体された教員住宅7部屋に対して、1部屋増の8部屋の教員住宅が理想ですと提案しました。

瀧口

教員住宅解体工事期間中、近隣の家の方が振動・騒音のため体調をくずされました。また、通行車両に作業中、石が当たり、修理が必要ですが、どう対処しますか。

町長

隣接住民の体調を把握しておりませんが、今後、適切に対応して行きます。通行車両については解体作業中に防水シートが車両に接触し損傷したとのこと、業者により対応し解決済みとのこと。



教職員住宅解体後の状況

一般質問

藤江雅江 議員

町づくり推進委員会は 発展的廃止の方向



問 「参画と協働のまちづくり」とは

答 町民参加による行政運営を目指す

藤江 3本の柱である西桂町民総合調整審議会・西桂町協働事業提案制度実施要綱・町長と語る会の具体的な推進方法は、

町づくり推進委員会と西桂町民総合調整審議会との関連性・相違点については、

町長 公共サービスへの要求が複雑多様化してきており、行政はその需要を充足することが、特に財政的な不足から困難な状況にあります。これを解消する手段として、町民参加により、地域の課題に対し、行政と町民が対等な立場で、共に解決していくことが必要であると考えております。

西桂町民総合調整審議会の主な活動内容ですが、町政における諸計画・諸企画等について、町附属機関等の横断的な機関として、専門的に調査研究及び立案を行っていたいただきます。委員は公募します。町づくり推進委員会は、町の施策や主要事業について調整をしていた組織としております。

西桂町協働事業提案制度は、地域や行政の様々な課題に対して、提案団体と町とがそれぞれの知識や経験、人材、情報などを持ち寄り、共に汗を流すことで、地域の行政課題の解決を図っていく取り組みであります。町長と語る会は、対話を通じて、町政への理解を

深めていただくとともに、町政に対する意見や提言を聴くことを目的として開催してまいります。

藤江 西桂町民総合調整審議会には有能な町民の資源をどのように活かしていくことができるのか町づくりに繋がっていくかお聞かせください。

町づくり推進委員会については、事実上活動休止状態です。委員会廃止を検討すべきでは。西桂町協働事業提案制度は個人での提案はできないのでしょうか。

町長と語る会の具体的な運営方法は、

町長 町民の資源をどう活用し町づくりに繋げていくかであり

ますが、公共サービスを行政だけで担うことは困難な状況で、地域をよく知り、地域に愛着を持つ町民の力を活用します。

町民総合調整審議会が実際に活動を始めて、方向性を見極めた際に、町づくり推進委員会を発展的に廃止したいと考えております。

西桂町協働事業提案制度について、行政と提案者が協働して事業を進め

ていくためには、団体による提案制度と考えております。

町長と語る会は、申し込む団体の方が、テーマを事前に町総務課企画係に提出していただきます。会場は地区公民館や公共施設等をお願いしたいと考えております。テーマによっては、担当部署の職員を同席させますが、内容によっては後日回答もあろうかと思っております。



町づくり推進委員会の審議状況

一般質問

小山正則 議員

地域に根差した 防災力の強化



問

現状を見据えての
地域防災の推進は

答

現状の方法を変更
自主防災組織の充実

小山

西桂町第5次長期総合計画に防災訓練事業は小規模訓練も含めて複数回実施すると明示されており、

が、これまで防災訓練の実施は防災の日のみであります。富士山噴火も想定され、訓練等も計画し防災意識高揚に努めることが重要であり、地域防災の推進について、町長の所見をお示し願いたい。

町長

総合防災訓練は、大地震の発生を想定する中で毎年9月の防災週間にあわせ実施しておりますが、様々な状況を見据えるなかで、実施方法、実施時期など検討していきます。

いざというとき、被害

を最小限に抑えるため、

地域に住む住民が互いに協力し合い、地域の防災活動を効果的に行えるよう、地域に根ざした防災力の強化を推進し、防災意識の高揚を図ることが必要であります。各地域における防災リーダーの養成や地域への出前講座、また、地域ごとの自主防災組織の充実や防災訓練の実施についての支援など、住民の方々にご協力がいただけるよう推進してまいります。

また、家庭内備蓄の推進や自助、共助、公助の考え方などを、町広報誌やホームページを活用した啓蒙活動を行っていくよう努めてまいります。

一般質問

小林 剛 議員

人材育成のため 人事評価は必要



問

役場組織における
行政評価制度の導入は

答

必要性は承知しており
実施方法を検討する

小林

経営資源の有効活用を図り組織を効率的に機能させるため、人事制度をはじめとする業績評価制度の導入が必須と考えます。導入について町長の御見解は、

住宅地供給能力を上げ町の人口を増やすため、農振法適用地域の見直しを検討してもらいたい。

町長

人事評価は、職員がその職務を遂行するに当たり発揮した能力と職員がその職務を遂行するに当たり挙げた業績、この二つの評価により行うもので、評価期間中の職務行動や業務の達成状況を、評価基準に照らして、評価するものだと思います。人材を

育成する上においても、人事評価が必要であることは承知しておりますが、実施方法については、十分検討してまいりたいと考えております。

農振法適用地域の見直しについて、町としては、新しく作られた県道や町道に沿った農地については、企業誘致や戸建て住宅の建築ができ人口増加の一助となるよう、土地の状況及び隣接地の状況を勘案し、農業委員会等と調整する中で農振農用地の除外や農地転用が比較的難しくなく出来るよう方針を決め、関係機関と協議してまいります。

一般質問

郷田和美 議員

三ツ峠をPRし 観光の要所にする



問 観光振興への取り組みは

答 新年度に観光案内所、看板を設置

郷田 豊かな観光資源を活用したタイムリーな観光の振興への取り組みをお伺い致します。

参画と協働による町づくりにおける女性主体の活動団体支援の考えは。

町長 富士山世界文化遺産登録に向けて、今年6月開催の世界遺産委員会において登録されるものと確信し、タイムリーな観光振興として、平成25年度に三ツ峠駅から三ツ峠グリーンセンターまでの間二ヶ所案内看板を設置、ふれあいサロン三ツ峠を観光案内所として活用します。

さくら祭りや木工まつりをコラボレーションさせ、観光と木工の振興を図ってまいります。また、さくら公園の桜をメインにしたお祭りの開催を考えています。今年の8月には三ツ峠活性化会議事業の一環として有名登山家と登る三ツ峠登山を楽しむイベント、10月には、三ツ峠の史跡等の文化を紹介する国民文化祭の事業を開催し、町の観光の振興や文化の紹介に取り組みます。また、三ツ峠は富士山の眺望が素晴らしいので、メディア等の協力により全国にPRし、三ツ峠が観光の要所となるよう取り組みます。

女性主体の活動団体への支援であります。自主的な参画のもとに主体性を持って継続的に活動していただける団体について、十分な支援をしていくべきであると考えております。

郷田 三ツ峠から富士山を題材にした冠を付けた写真展や絵画展の開催、新しい商品や特産品の開発等、タイムリーな企画やイベントを実施するチャンスであります。斬新で創意工夫を凝らした企画に取り組まれますよう要望致します。

女性主体団体の活動に十分ご注視いただき、申請があれば速やかな対応をいただきますよう要望致します。

町長 観光振興への取り組みについては、三ツ峠に関する新たな看板の設置や観光案内所の設置を着実に進め

つ、町のホームページ等に富士山及び三ツ峠の情報を多く掲載し、三ツ峠を一層アピールします。写真展や絵画展の開催については、前向きに取り組む、町独自ではなく行政と民間が一体となつて取り組んでいけないか検討します。商品や特産品の開発等については、県及び市町村の動向をみながら開発等に取り組ま

す。

女性団体への支援について、来る3月25日に婦人会の設立総会が開催されるとの案内をいただきましたので、その際には、事業の社会性と継続性のご理解をいただくとともに、日赤奉仕団としての活動についても、取り組んでいただけたらと思いますので、町の支援を行っていきべきと考えております。



平成24年11月9日実施 三ツ峠活性化会議登山事業



区長要望

倉見地区の防災対策

『松久保地区危険個所の対策』

平成25年1月11日座談会

見長 松久保地域の防災対策に 倉区 取り組んでほしい

町民グラウンドに隣接する松久保地区で平成23年9月に鉄砲水が出ました。大正、昭和においては、台風による災害もあり、平成3年は、増水で大災害が発生しています。要請を継続していたが、未だに手付かずの状況があるので、早期に何とかしていただきたい。

現状 県より連絡があり 事業化が決定

平成7年以来倉見地区より区要望事項として松久保地区の防災対策の要望が出ています。

町としても、何度となく県に陳情及び要望をしてきましたが、林野庁調査の危険地区等及び国土交通省調査の危険個所等の対象地区、危険個所等の定義に当てはまらない個所との回答を受けまし

た。

この件に関しては、地元町会議員から複数回にわたり一般質問が出されていたが、県の事業採択は困難との答弁を行っていました。

町では各関係機関と折衝し、何度となく現場確認を実施しましたが、結論は防災対策事業として取り込めない事となつて

いました。

平成16年度倉見区要望にともない、隣保組の連名で要望書が上がっていました。

その後、大月林務環境部治山林道課と役場担当課長の会議により、現地調査をする中で補助事業対象工事として進めることを確認しました。

平成24年3月に現地調査を実施しました。

平成25年3月13日に建設水道課長の案内のもと、長崎幸太郎衆議院議員と地元倉見地区の住民の皆さんで現地を視察し、長崎議員より事業採択に向け早急に努力する旨の意見をいただきました。

その後、長崎議員より「長年の懸案である本件は、何とか新年度での事業化が実現しそうです」とのコメントをいただきました。

平成25年3月27日に富士・東部建設事務所から事業化が決定された旨の連絡がありました。



平成25年3月13日 倉見区民と長崎幸太郎衆議院議員現地視察

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。



東山の里を訪ねて



東山さんご夫婦への取材にて

問 この施設名は。
東山さん 東山の里（とうざんのさと）と名付けました。下暮地の入宮神社横の山の斜面を整備しました。
問 施設の造成は、東山昭夫さん、春代さんご夫婦でなされたのですか。
東山さん 夫婦で整備・管理していますので、できる範囲で行っています。
問 活動目的は。
東山さん 多くの方に憩いの空間を提供したいと思いい般開放していますので、ご二報の上、ご自由



東山の里で体験教室に参加する児童達

に訪れて下さい。
問 現在の取り組みは。
東山さん 紅葉、ふくじゅ草、すいせん、つつじ、エビネラン、あじさい、山桜等を配置し、四季折々、見学者に楽しんでもらえるようにしています。本日のように湯茶の接待も行っていきます。
問 今後の目標は。
東山さん 高齢者の方が作った品物を安価で販売する売店を立ち上げたい。そうすれば、高齢者皆さんの生きがいになります。
問 町民に望むことは。
東山さん 本町の方がくじ草を見に来てくれる方が訪れてくれると嬉しいです。
問 町と議会に望む事は。
東山さん 東山の里を知ってもらえるようにご助力いただけたらと思います。三ツ峠グリーンセンターと協働して町に訪れる方を楽しませることができたらと思います。

● 東山さん連絡先 ●
 ☎ 0555 (25) 2361

早急な対応 倉見山登山道道標を設置

倉見区、宝養寺入口付近に倉見山登山道の道標がなく、付けて頂きたいとの要望がありました。産業振興課に連絡し、早急の対応で分かりやすい道標を設置していただきました。ありがとうございました。



地域で活躍する団体を訪ねて その53



すいせんクラブのみなさんと

訪問先

**すいせん
クラブ**

代表 武藤玲子

取材日：4月12日

小山正則・渡辺 隆

問 団体名は。

選手 すいせんクラブです。

問 代表者のお名前は。

選手 武藤玲子さんです。

問 活動目的、活動場所、活動時間を教えてください。

選手 活動目的は、地域のコミュニケーションと健康維持です。活動場所は、中学校体育館です。活動時間は、毎週金曜日、午

選手 活動目的は、地域のコミュニケーションと健康維持です。活動場所は、中学校体育館です。活動時間は、毎週金曜日、午

選手 活動目的は、地域のコミュニケーションと健康維持です。活動場所は、中学校体育館です。活動時間は、毎週金曜日、午

選手 活動目的は、地域のコミュニケーションと健康維持です。活動場所は、中学校体育館です。活動時間は、毎週金曜日、午

選手 活動目的は、地域のコミュニケーションと健康維持です。活動場所は、中学校体育館です。活動時間は、毎週金曜日、午

選手 活動目的は、地域のコミュニケーションと健康維持です。活動場所は、中学校体育館です。活動時間は、毎週金曜日、午

選手 活動目的は、地域のコミュニケーションと健康維持です。活動場所は、中学校体育館です。活動時間は、毎週金曜日、午

後8時から10時までです。

問 どのような方が会員となっていて、会員数はどのくらいですか。

選手 町内在住者が会員となり、10名で活動しています。

問 現在取り組まれていることは。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

問 今後の目標を教えてください。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。

選手 1試合でも多く勝つ事です。



2013/03/03

ください。

選手 Aパートで優勝したいです。

問 町民に望むことは。

選手 若い人達がスポーツに対して関心を持ち、積極的に取り組んでもらいたいです。

問 町で行われる大会の際には、沢山の方が参加、または、応援に来て欲しいです。

問 町行政と町議会に望む事は。

選手 スポーツを盛んにして欲しいです。

代表者 すいせんクラブはこのたび、山梨県ママさんバレーボールの四大大会の一つでありますフレッツカップのBパートで、優勝する事ができました。諸先輩方のおかげで引き続き活動出来ることに感謝しています。部員も募集していますので、よろしくお願い致します。

選手 スポーツを盛んにして欲しいです。

代表者 すいせんクラブはこのたび、山梨県ママさんバレーボールの四大大会の一つでありますフレッツカップのBパートで、優勝する事ができました。諸先輩方のおかげで引き続き活動出来ることに感謝しています。部員も募集していますので、よろしくお願い致します。

選手 スポーツを盛んにして欲しいです。

代表者 すいせんクラブはこのたび、山梨県ママさんバレーボールの四大大会の一つでありますフレッツカップのBパートで、優勝する事ができました。諸先輩方のおかげで引き続き活動出来ることに感謝しています。部員も募集していますので、よろしくお願い致します。

選手 スポーツを盛んにして欲しいです。

代表者 すいせんクラブはこのたび、山梨県ママさんバレーボールの四大大会の一つでありますフレッツカップのBパートで、優勝する事ができました。諸先輩方のおかげで引き続き活動出来ることに感謝しています。部員も募集していますので、よろしくお願い致します。



レシーブの基本型を練習しています。

商工まつりに参加して

さくら祭り&商工まつりのコラボレーション。

楽しみにしていた行事も、雨のために「商工まつり」のみの開催となってしまうととても残念でした。

三ツ峠グリーンセンター内での催し物は、各種団体のエネルギーで力強く、皆さんの発表を見て、聞いて、感動して楽しい思い出の一日となりました。ありがとうございました。

来年を楽しみにしています。よろしくお願いします。

(藤江)



編集委員長	藤江 雅江
副委員長	柏木 正
委員	小山 正則
委員	渡辺 隆
委員	井上 秀樹

これから次号にむけ活動してまいります。町内どこでも取材させて戴き少数のご意見を伺い皆様にお知らせできたらと考えております。

次号もよろしく御願

い
(柏木)

さて本号は、「当初予算」「一般質問」を分かりやすく掲載致しましたが如何でしょうか。疑問等ございましたらご連絡戴ければ幸いと存じます。

新年度も始まり、3月議会にて当初予算が可決されました。昨今、アベノミクスで景気回復を図ろうとしておりますが、地方、中小企業にはまだまだ先の話です。

